

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語 I
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	国際創造工学科 共通1年		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	高等学校 現代の国語（第一学習社）／高等学校 言語文化（第一学習社）／カラー版新国語便覧（第一学習社）					
担当教員	加藤 文彬,平本 留理					
到達目標						
1、さまざまな文章の構成や展開、内容を読み取り、筆者のものの見方や感じ方、考え方を理解し、自分の考えを持つことができる。 2、言語感覚を磨き、相手の立場や考えを尊重しつつ、自らの考えを適切に表現することができる。 3、古典の基本的な知識を身につけ、伝統的な言語文化に対する興味・関心を持つことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	筆者のものの見方や感じ方、考え方についての理解をもとに、自分や周りを見つめ直し、深く考えることができる。		文章の構成や展開、内容をほぼ理解し、それについて自分の考えを持つことができる。		文章の構成や展開が読み取れず、内容を全く理解することができない。	
評価項目 2	相手の立場や考えを尊重し、より適切かつ的確に自らの考えを表現しようと追求することができる。		相手の立場や考えを理解したうえで、自らの考えを表現することができる。		相手の立場や考えを理解しようとせず、自分の考えだけを述べようとする。または、自分なりの考えを表現することができない。	
評価項目 3	古典の知識をもとに、我が国の伝統的な言語文化に深い関心を持ち、自主的に調べたり、他国の文化との関係を考えたりすることができる。		古典の基本的な事項を理解し、伝統的な言語文化に対する興味や関心を持つことができる。		古典の基本的な事項を理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)						
教育方法等						
概要	現代文・古典の総合的な学習を通して、基礎的な国語力、幅広い教養を身につけさせるとともに、思考力の伸長を図る。					
授業の進め方・方法	週の2時間は現代文、1時間は古典を学習する。いずれの授業においても、学生に意見を求めながら進めることを基本とし、適宜ペアワークやグループワークを取り入れる。					
注意点	わからない語についてはこまめに辞書を引いて意味を確認すること。提出物は期限を守ること。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		1年間の学習内容と目標、授業の進め方や評価の方法について理解することができる。	
		2週	(現代文) 夏目漱石「夢十夜」 (古文) 宇治拾遺物語「児のそら寝」		(現代文) 本文を読み、筆者の主張を読み取ることができる。 (古文) 本文を正しく音読し、本文内容を理解することができる。	
		3週	(現代文) 夏目漱石「夢十夜」 (古文) 宇治拾遺物語「児のそら寝」		(現代文) 本文を読み、筆者の主張を読み取ることができる。 (古文) 本文を正しく音読し、本文内容を理解することができる。	
		4週	(現代文) 夏目漱石「夢十夜」 (古文) 伊勢物語「筒井筒」		(現代文) 本文を読み、筆者の主張を読み取ることができる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。	
		5週	(現代文) 中原中也「一つのメルヘン」 (古文) 伊勢物語「筒井筒」		(現代文) 本文を読み、筆者の主張を読み取ることができる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。	
		6週	(現代文) 表現「手紙・メールの書き方」 (古文) 伊勢物語「筒井筒」		(現代文) 手紙やメールについての理解を深め、形式を踏まえた文面を作成することができる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。	
		7週	中間試験		合格点を取る。	
		8週	(現代文) 中間テスト返却/短歌「その子二十」 (古文) テストの解説		(現代文) 誤答した箇所について、正しく答えられる。 。/短歌のリズムに親しむとともに、韻文ならではの表現を味読できる。 (古文) 間違えた箇所の正答を理解することができる。	
	2ndQ	9週	(現代文) 短歌「その子二十」 (古文) 万葉集		(現代文) 短歌のリズムに親しむとともに、韻文ならではの表現を味読できる。 (古文) 三大和歌集に収載される歌々を味読するとともに、和歌独自の修辞について理解することができる。	
		10週	(現代文) 志賀直哉「城の崎にて」 (古文) 万葉集		(現代文) 本文を読み、大筋を理解することができる。 。(古文) 三大和歌集に収載される歌々を味読するとともに、和歌独自の修辞について理解することができる。	

後期		11週	(現代文) 志賀直哉「城の崎にて」 (古文) 万葉集・古今和歌集	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (古文) 三大和歌集に収載される歌々を味読するとともに、和歌独自の修辞について理解することができる。
		12週	(現代文) 志賀直哉「城の崎にて」 (古文) 古今和歌集	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (古文) 三大和歌集に収載される歌々を味読するとともに、和歌独自の修辞について理解することができる。
		13週	(現代文) 志賀直哉「城の崎にて」 (古文) 古今和歌集・新古今和歌集	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (古文) 三大和歌集に収載される歌々を味読するとともに、和歌独自の修辞について理解することができる。
		14週	(現代文) 志賀直哉「城の崎にて」 (古文) 新古今和歌集	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (古文) 三大和歌集に収載される歌々を味読するとともに、和歌独自の修辞について理解することができる。
		15週	期末試験	合格点を取る。
		16週	総復習	テストで間違えた箇所の正答を理解し、これまでの学習内容を振り返ることができる。
	3rdQ	1週	(現代文) 村上春樹「鏡」 (漢文) 訓読	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (漢文) 漢文の基礎的事項と訓読の仕方を理解することができる。
		2週	(現代文) 村上春樹「鏡」 (漢文) 訓読	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (漢文) 漢文の基礎的事項と訓読の仕方を理解することができる。
		3週	(現代文) 村上春樹「鏡」 (漢文) 訓読	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (漢文) 漢文の基礎的事項と訓読の仕方を理解することができる。
		4週	(現代文) 村上春樹「鏡」 (漢文) 訓読	(現代文) 本文の表現や、主題に対する理解を深めることができる。 (漢文) 漢文の基礎的事項と訓読の仕方を理解することができる。
		5週	(現代文) 表現「意見文を書く」 (漢文) 戦国策「漁夫之利」	(現代文) 意見文の構成を理解し、短い小論文を作成できる。 (漢文) 本文の訓読の仕方と内容を理解することができる。
		6週	(現代文) 表現「意見文を書く」 (漢文) 戦国策「漁夫之利」	(現代文) 意見文の構成を理解し、短い小論文を作成できる。 (漢文) 本文の訓読の仕方と内容を理解することができる。
		7週	中間試験	合格点を取る。
		8週	(現代文) 答案返却と解説/ (現代文) 俳句「こころの帆」 (古文) 答案返却と解説	(現代文) 間違えた箇所の正答を理解することができる。/ 俳句のリズムに親しむとともに、韻文ならではの表現を味読できる。 (古文) 間違えた箇所の正答を理解することができる。
		9週	(現代文) 俳句「こころの帆」 (古文) 徒然草「つれづれなるままに」	(現代文) 俳句のリズムに親しむとともに、韻文ならではの表現を味読できる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。
		10週	(現代文) 俳句「こころの帆」 (古文) 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」	(現代文) 俳句のリズムに親しむとともに、韻文ならではの表現を味読できる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。
		11週	(現代文) 村岡晋一「ロビンソンの人間と自然」 (古文) 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」	(現代文) 本文の内容や論の展開を理解し、筆者の主張について自分なりに考えることができる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。
		12週	(現代文) 村岡晋一「ロビンソンの人間と自然」 (古文) 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」	(現代文) 本文の内容や論の展開を理解し、筆者の主張について自分なりに考えることができる。 (古文) 本文内容を正しく理解することができる。
		13週	(現代文) 村岡晋一「ロビンソンの人間と自然」 (漢文) 論語	(現代文) 本文の内容や論の展開を理解し、筆者の主張について自分なりに考えることができる。 (漢文) 本文の正しい訓読の仕方と内容を理解することができる。
		14週	(現代文) 村岡晋一「ロビンソンの人間と自然」 (漢文) 論語	(現代文) 本文の内容や論の展開を理解し、筆者の主張について自分なりに考えることができる。 (漢文) 本文の正しい訓読の仕方と内容を理解することができる。
		15週	期末試験	合格点を取る。
		16週	総復習	テストで間違えた箇所の正答を理解し、これまでの学習内容を振り返ることができる。

評価割合							
	試験	提出物	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	10	0	0	0	0	100
基礎的能力	90	10	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0